

わかりやすく解説



花巻市の財政

(平成30年度当初予算から)



円万寺観音山からの眺望



花巻市のマスコットキャラクター
フラワーロールちゃん

花巻市の財政状況を
わかりやすく
解説します。

- もくじ
- その1 市民生活を支える財政・・・・・・・・・・ 1
 - その2 平成30年度予算をもとに
花巻市の財政状況を見てみよう
 - ① 花巻市のお財布はどうなってるの？ 2
 - ② 市の歳入はどんな状況？・・・・・・・・ 3
 - ③ 市の歳出はどんな状況？・・・・・・・・ 4

花 巻 市

その 1

市民生活を支える財政

● 財政は私たちの生活を支える重要な役割をはたしています

市民の皆さんから納めていただく税金や使用料、国・県からの補助金、交付金など、また、銀行等からの借入金（市債）などの収入を、どんな目的（福祉や教育など）に使うかを定めることを「財政」といいます。

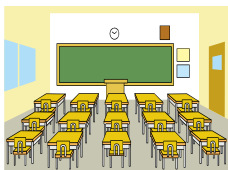
それを数値で示したものが「予算」であり、また、計画した予算をどのように使ったか、その実績と成果を明らかにしたものが「決算」です。



● 皆さんの生活の中のさまざまな行政サービス



道路の建設・維持管理



小・中学校の維持管理



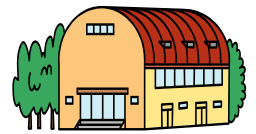
高齢者への福祉サービス



保育園での保育サービス



消防・救急活動



体育館・図書館の運営

このようなたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやり繰りしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。家計に例えれば、給料などで得た収入を、食事にどれくらい使おうか、子どもの教育にいくらかけようかなど、その使い道を考えることと同じです。

日常生活に関わりの深い主な行政サービス

- 防災・安全対策
 - 道路・公園の整備
 - 学校の維持管理
 - 消防・救急活動
 - ごみと資源の収集
 - 検診や予防接種などの健康事業
 - 高齢者などへの福祉サービス
 - 広報紙などによる広報活動
 - スポーツ・文化施設の利用
- など

その 2

平成30年度予算をもとに 花巻市の財政状況を見てみよう

1 花巻市のお財布はどうなってるの？

花巻市の予算は、「一般会計」と「特別会計」の2種類の会計があります。2つのお財布があって、それぞれお金を出し入れするしくみです。

また、下水道事業等については、「公営企業会計」として別に管理しています。



1 番目の大きいお財布が「一般会計」です。

一般会計
476億3,710万円

一般会計とは、教育・福祉・道路整備・ごみ処理など皆さんの生活に深くかかわるお金を管理する会計です。
平成30年度の当初予算の額は、476億3,710万円です。

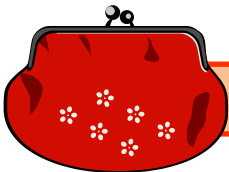
2 番目のお財布が「特別会計」です。

特別会計とは、特定の目的のために、保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計で、お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別に管理しています。
花巻市には、5つの特別会計があります。

特別会計
217億3,450万円

- 国民健康保険・・・ 86億7,088万円
- 後期高齢者医療・・・ 20億5,819万円
- 介護保険・・・ 105億9,841万円
- 公設地方卸売市場事業・・・ 8,013万円
- 汚水処理事業(※)・・・ 3億2,689万円

※ 平成29年度まで農業集落排水等汚水処理事業特別会計で管理していた農業集落排水事業を、本年度から公営企業会計の下水道事業会計に移し、残る個別浄化槽などの事業は、汚水処理事業特別会計で管理します。



参考：下水道事業等は「公営企業会計」です。

公営企業会計
73億4,717万円

公営企業会計とは、特別会計の中でも、一般の会社と同じ方法でお金の管理を行う会計です。

花巻市では、下水道事業及び農業集落排水事業がこれにあたり、それぞれの使用料を財源として施設の維持管理を行ったり、国や県からの交付金などで施設の建設や更新を行ったりします。
平成30年度の当初予算の規模は、73億4,717万円です。

2 市の歳入（入ってくるお金）はどんな状況？

では、皆さんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成30年度の歳入（入ってくるお金）がどのようなになっているのか見てみましょう。



花巻市の歳入（入ってくるお金）には、自主財源と依存財源の2種類の性格があります。

自主財源
155億4,172万円
(32.6%)

皆さんに納めていただく市税や、スポーツ施設などの施設を利用する時に納めていただく使用料、住民票や印鑑証明を交付するときにいただく手数料など、花巻市が自主的に調達することができるお金のことを言います。

依存財源
320億9,538万円
(67.4%)

道路や施設を作るときに国や県からもらう補助金、同じように道路や施設を作るときに借りる市債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。

依存財源は、市の都合だけでは調達することができないお金です。また、使い道が決められているお金も入っています。

	項目	金額	割合	内容
自主財源	市税	111億6,722万円	23.4%	市民税や固定資産税など
	使用料及び手数料	7億1,723万円	1.5%	スポーツ施設の使用料など
	分担金及び負担金	5億1,116万円	1.1%	保育料など
	財産収入	1億3,928万円	0.3%	土地や建物の貸付けや売払い料など
	その他	30億 683万円	6.3%	基金からの繰入金、寄附金など
	計	155億4,172万円	32.6%	
依存財源	地方交付税	138億7,000万円	29.1%	国から一定の基準で交付
	国庫支出金	59億3,003万円	12.4%	国から必要に応じて交付
	県支出金	39億4,565万円	8.3%	県から必要に応じて交付
	市債	54億2,260万円	11.4%	金融機関などからの借入れ
	その他交付金	29億2,710万円	6.2%	国、県から一定の基準で交付
	計	320億9,538万円	67.4%	
合計		476億3,710万円	100.0%	

3

市の歳出（出て行くお金）はどんな状況？

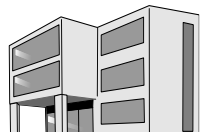
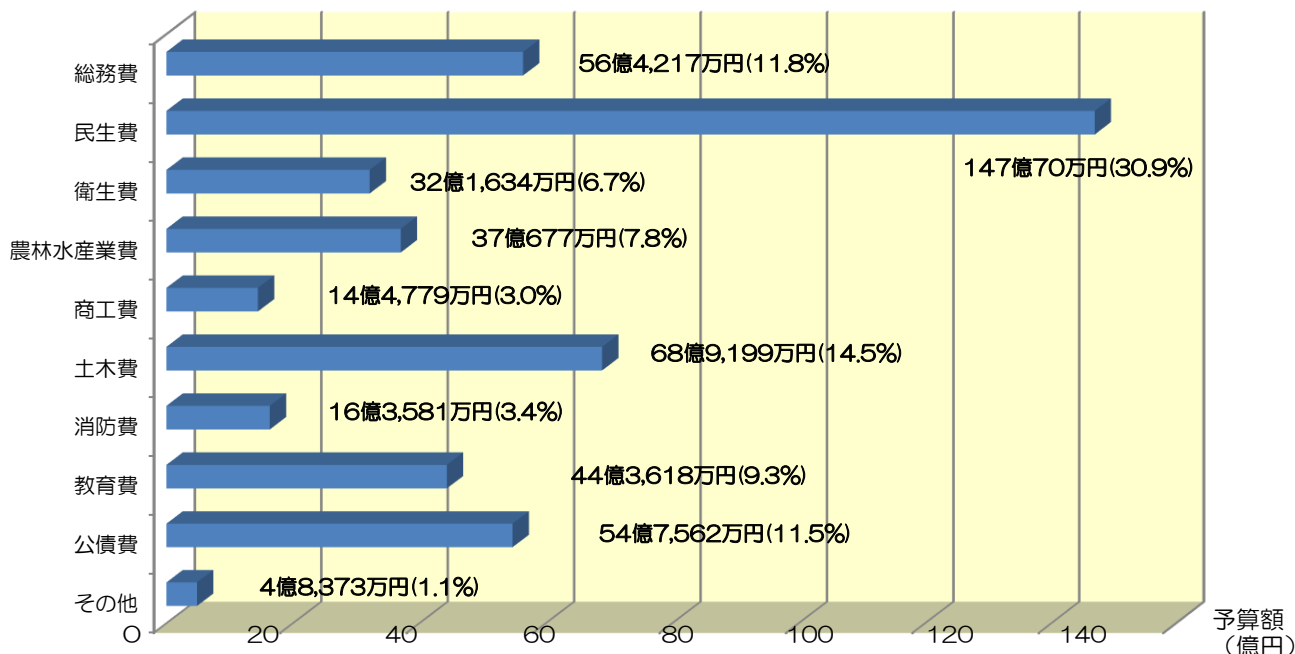
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか？今度は一般会計の歳出（出て行くお金）について見てみましょう。

市では、道路や施設を作ったり、火災や救急に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほかにも子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

どのような目的にどのくらいお金を使っているのかを簡単に説明すると、次のようになります。



目的別のお金の使い道



総務費

地域づくりや広報、税金や住民票交付の事務、市庁舎の維持管理などに使われます。防災のためのお金も含まれます。



民生費

子育て支援や高齢者・障がい者福祉、医療費の助成などに使われます。



衛生費

ごみを集めたり処理したりする経費や、皆さんの健康づくりのための仕事などに使われます。



農林水産業費

農業や林業などで働いている人を応援したり、森林を守る仕事などに使われます。



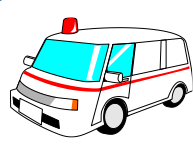
商工費

商店街や中小企業の応援、企業誘致活動、観光客の誘致や観光施設を管理する仕事などに使われます。



土木費

道路や橋、公園、市営住宅などの整備、管理のために使われます。



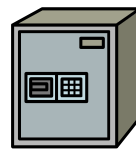
消防費

消防・救急活動のほか、消防車や救急車の管理や購入、消防署の整備、消防団活動などに使われます。



教育費

学校教育・生涯学習・スポーツなどの振興、これらの施設の整備や運営などに使われます。



公債費

道路や施設を作る時に金融機関などから借りたお金を返すために使われます。



その他

議会運営のための「議会費」、働いている人や仕事を探している人を応援する「労働費」などです。